



No.209 発行元・返還先：(公財) 箕面市国際交流協会

【賛助会員数】個人：296名 法人：24団体 (1月11日現在)

〒562-0032 箕面市小野原西5-2-36 多文化交流センター内

Tel：072-727-6912 Fax：072-727-6920

E-mail：info@mafga.or.jp Web：https://mafga.or.jp



[2024年度テーマ]  
半径5メートルの多文化共生  
一時帰国～O que faz alguém se sentir em casa? (何をすれば人は家にいるように感じるのか?)

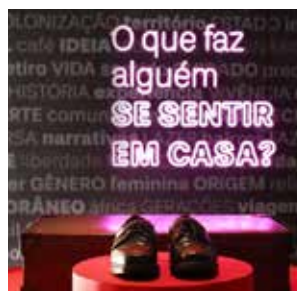
2024年度の「めろん」では、「半径5メートルの多文化共生」という年間テーマを設け、協会の中で、あるいは書き手の身近な関係性の中で起こる多文化にまつわる出来事や経験から、読者とともに考えていきたいテーマについて問題提起していく。手の届く「半径5メートル」のできごととして、「自分ごと」として考えてほしい。

子ども3人を連れて、10年ぶりに故郷に帰った。飛行時間だけでも24時間。時間も旅費も要するので、そう簡単に帰れない。17歳の息子には私が若い時に大事に貯めたマイレージを使って別便で飛んでもらい、サンパウロ・グアルーリョス空港で待ち合わせ！8歳と6歳の子どもは日本生まれで、はじめてブラジルの家族やブラジルに出会う。私としては、子どもたちがブラジルを、すなわち私の一部を、どう受入れてくれるのか、という不安もあった。

到着すると、荷物だけが、経由地のアメリカに残されていた。旅にはトラブルがつきものだが、全員時差ぼけで着替えもパンツもない。不慣れな大都会で夜に出歩くわけにもいかず、眠い目をこすりながら、歯ブラシなどの生活必需品を求めて、朝からとりあえず街歩き。下の子どもたちは、座ったら寝るという状態で、一日、メトロ(地下鉄)やショッピングモールのフードコートで抱っこしながら起きるのを待つ。ブラジルに何をしにきたんだか…とにかく、夏休みの3週間、元気に無事に過ごすことも大きな目標だった。

そして、一つだけ、今回の滞在中にどうしても行きたいところがあった。それは、サンパウロ移民博物館。戦後、神戸の海外移住センターから家族7人で出発した祖父がブラジルで最初に滞在した場所でもある。サンパウロはブラジル最大の都市であり、貧富の差がまだまだ激しく、治安も良いとは言えない。弟の家に滞在していたが、その家から一歩出るにも、強盗や危険な目に合わないために、常に細心の注意を払う必要があった(だんだん慣れていくのだけれど)。たかが博物館へ行くこと一つでも、容易なことではなかった。

顔では平常心を保ちながらも、なんとかして人通りの少ない博物館に到着。広い庭があったので、頻繁には外へ出られず運動不足の子どもたちは、とりあえず思う存分走りまわった。展示会場へ移動した頃には、緊張と旅の疲れでボーッとしていたが、その壁に大きなネオンの文字で書かれた問いに圧倒された。"O que faz alguém se sentir em casa?" ポルトガル語で「何をすれば人は家にいるように感じるのか」。ちょうど、「移民：経験、記憶、そしてアイデンティティ」展\*が開催されており、その中の展示のひとつだった。



答えに戸惑ったが、この問いかけに、今までブラジルでも日本でも感じてきた疎外感や、「いてはいけない感」がスーッと抜けていくようだった。家というのは自分が自分らしくいられる安心・安全な場所。それは、自分で努力すれば得られるかもしれないが、自分以外のだれかが問うて、考えてくれることはなかったから、自分も「いてもいい」と承認されるようだった。特に、公的な機関がこのような問いかけをすることに意味を感じた。

ポルトガル語が分からない私の子どもたちでも、ここが安心・安全な場で、家に帰ってきたと受け入れられているような一文だった。そんな私の感動とは裏腹に、子どもたちは書かれていることは分からないし、あちらこちら動き回るので、実際は博物館のほんの一部しか味わうことができず非常に残念であった。

しかし、そんな子どもたちでも、何かを感じ取れるような工夫があちらこちらにされていた。例えば、様々な年齢の人の姿をかたどった太いワイヤーのような近代的な作品。長い航海を終え、この地に辿り着き、たずむ人々を表したものの。その一つに、自分を重ねた娘。「バアバは6歳でブラジルに来たんでしょう？私と一緒にいらだから、多分これかな？」とつぶやいた(写真)。かつて、母がブラジルに到着した瞬間を確かめるかのようなようだった。

もう一つ印象深かったのは、ブラジルに渡ってきた人々のオーラルヒストリーのコーナーである。大きなタッチパネルに大きな目、鼻、口というように、画面が3分割されており、各部分を手でスライドしながら、一つの顔が繋がった時、その人が話し出す仕組みになっていた。多様な顔のパーツに触れることで、自分と似た目や鼻に触れ、自然に自分もこの社会の、ブラジルの歴史の一部と感じさせるようだった。

最後に紹介するのは、「私たち」という主語とともに、世界中に住む400万人以上(2021年時点)のブラジル人の出国スタンプを透明な柱に入れて表した展示だ。たくさんの



移民を受け入れてきたブラジルだが、ブラジルに来た人も多くいれば、ブラジルを出た人も多くいることを、ひと目で見て感じることができるとなっていた。日本に住む外国ルーツの子どもや若者たちが日本社会に受け入れられているのか、安心・安全な場、家にいるかのように「いてもいい」と感じる場所はあるのか、改めて考えさせられる展示でもあった。

「移民する人の旅はいつ終わるのか」というもう一つの問

いが壁に光っていた。私自身を含む、老いていく在日外国人、外国につながる人の姿を思い浮かべずにいられなかった。「私たちはどのような社会を作っていきたいのか」と帰国後も繰り返し問われるようだった。今までの私は、「私たち」に入りきれず、どこか部外者という感覚を持っていたが、改めて、ここに住むみんなで社会を作っていかなければならない、と勇気をもらった旅でもあった。(大野)

\*展示は2024年に惜しまれながら終了。現在は改装作業中である。

コラム

## アートの小箱

Vol. 18

多文化共生社会ってなんなんだ、と問い続け、アートの世界にその糸口を得た野崎ターラー(協会職員・アート活動家)による、不定期コラム。読者のみなさんにも、アートの世界に触れ、共生のヒントを感じてほしい。

### 「その店にあるもの」

突然だが、私は古着が大好きだ。古着とは、服を買うのではなく、店主のセンス、私という客への店主の見立てを買っていると思っている。だから、ただの衣料品店で衣類を購入する時と違って、冒険してるような気分になる。

そんな気持ちを味わえる古着屋が箕面の桜井市場内にある。昨年の3月にオープンした「猫猫(まおまお)」だ。不思議な雰囲気の中で、古着屋であり、バーでもあり、駄菓子屋さんでもある。お菓子や服であふれた店内は、物がたくさんあるのに、すっきりしている。理由は、どれも店主・向井さんの「好き」が詰まっている商品だからだ。駄菓子は、店の近所にある絵画教室の子どもたちがお得意さんらしい。古着は、向井さんはご両親の影響で昔から服への関心があったが、「所詮ただの布」と言って力みはない。ただ、多くの人が無難な服ばかり着ているので、そこに「色を入れたい」という思いでやっている。



所狭しと並んだ駄菓子



店主のおふたり

中央にはソファとテーブルがあり、多くの客は「ちょっとだけ」と言いながら長居するという。向井さんは、店に来る人たちを、お客さんではなく「人」として見ている。店に入ってもまるで誰もいないかのように振る舞う客には声をかけるし、駄菓子を買いに来た子どもにも、自販機やコンビニのように、小銭がいつでもあるわけではないと説明して、小銭での支払いを協力してもらったりしている。それは、いわゆる「感じのいい接客」ではないかもしれないが、向井さんという「人」の存在を確かに感じる。向井さんには、どこもかしこも「ショッピングモール」になってきている風潮に対する危機感がある。巨大商業施設ではどんな商品でもすぐに手に入り、レジすら自分でできてしまう。それは便利かもしれないが、そこで手に入るのは「商品」だけだ。

身近にある、リアルな交流ができる場、会話やセンス、独自の個性を持つ店は失って初めてその価値が分かるケースが多い。でも、一度失ってしまうともう二度と手に入らない。そのようなお店を守り、育てるのは地域に住む私たちが。

## 唐木幸子バレエスタジオ ～箕面の地で40年の歴史～

\*バレエコース：「ロシア国立ペルミバレエ学校日本校」のバレエ教授法取得証明書(Diploma)や、日本徒手療法師会より「徒手療法師」の資格認定を与えられた姿勢調整師でもある指導者が、丁寧に分かりやすく指導致します。「バレエは芸術」として長く続けられるように、また中高生には学業と両立できるよう配慮しています。3才～80才位の年齢層まで、目的に合わせて気軽に楽しく始められます。

\*健康コース：徒手療法師の資格を持ったバレエ指導者(姿勢科学士)が健康維持を目的とした姿勢調整を致します。

〒562-0041 箕面市桜4-1-24 阪急牧落駅西側右斜め前(駅より30M)  
072-721-6300/721-2576 <http://www.karaki-sachiko-ballet.com/>



(公社)日本バレエ協会会員・AODT会員



# 国際交流協会 (MAFGA) からののお知らせ






【申込み先】 ☎: **072-727-6912** FAX: **072-727-6920** Web: **mafga.or.jp**


<p><b>説明会</b> 2/22 (土) 13:30-15:00</p>	<p><b>2024年度 第3回ボランティア説明会</b> 協会です新たにボランティアを始めたい人を対象に説明会を開催します。協会の事業についての説明や、活動グループの紹介をした後、ブースごとに活動説明と登録を行います。</p>	<p>場 所: comm cafe 参加費: 無料 定 員: 20名 申込み: QR コードから</p> 
<p><b>相談会</b> 3/1 (土) 13:30-15:30</p>	<p><b>小学校生活についての相談会</b> 外国にルーツのある子どもと保護者のための小学校生活についての相談会を、開催します！箕面市教育委員会の先生に直接質問できます。</p>	<p>対象: 外国にルーツを持つ子どもと保護者 (通訳が必要な人は事前申込み) 場所: 多文化交流センター 参加費: 無料</p>
<p><b>説明会</b> 3/4 (火) 18:30-19:30</p>	<p><b>ホストファミリー説明会 ~留学生を「家族の一員」として迎いませんか?~</b> 大阪大学で学ぶ留学生との宿泊を伴わない交流「ホームビジット」。出身国や文化背景、阪大での所属や、滞在期間はさまざまです。留学生との交流を通して、多様な出会いを体験しませんか。</p>	<p>場 所: 多文化交流センター 参加費: 無料 定 員: 10名程度 (要申込み) 申込み: QR コードから</p> 

## 他団体からのお知らせ

問合せ・申込みはそれぞれの団体へお願いします。



<p><b>相談会</b> 2/15 (土) 10:30-16:30</p>	<p><b>外国人のための一日離職相談ホットライン</b> 離婚について弁護士と相談できます。法律やビザ、そのほかいろいろ、外国人サポートの専門家と相談できます。相談料は無料です。 主催: 大阪弁護士会、リコン・アラート (事務局: とよなか国際交流協会)</p>	<p>相談方法: ①電話 (06-6363-1166)、 ②Zoom、③対面 (大阪弁護士会館) 予約: ①不要、②③ 2/14 までに予約 (06-6843-4343 / atoms@azaq.jp)</p>
<p><b>セミナー</b> 2/18 (火) 14:00-15:30</p>	<p><b>箕面市職員向け人権セミナー「多文化時代の窓口対応 2025 ~言葉の壁を越えていこう!~」</b> 外国人市民に窓口で対応するにあたっての心構えやコツ、リソースを紹介します。 ◎ 河合大輔 (箕面市国際交流協会 事務局次長兼事業課長)</p>	<p>場 所: 市民会館2階 大会議室2 問合せ: 072-724-6707 (箕面市人事室) 参加費: 無料 申込み: QR コードから</p> 
<p><b>セミナー</b> 2/20 (木) 14:00-16:00</p>	<p><b>外国人のための保健・医療サポートセミナー 2024 「ともに生きる社会をめざして~エルファの活動を通して~」</b> 毎年、医療従事者や市民向けに、外国人医療について考える。医療制度・介護制度が外国人市民を包括してこなかった歴史や、現在地域にどのような課題があるのかを紹介する。 ◎ 南珣賢 (NPO 法人エルファ 代表)</p>	<p>定 員: 100名 (申込み先着順) 場 所: 箕面市立病院 いろはホール 参加費: 無料 ※一時保育あり 申込み: QR コードから</p> 
<p><b>講演会</b> 2/22 (土) 13:00-14:30</p>	<p><b>日本語学習 講演会</b> 「日本語のボランティアについて」と題し、日本語学習の紹介、日本語教師の新しい資格制度等が内容です。日本語教室でボランティアをされている方のご参加をお待ちしております。◎ 高瀬瑞央 (ヒューマンアカデミー)</p>	<p>場 所: 多文化交流センター講座室 参加費: 500円 主 催: T.E.S. にほんご 申込み・問合せ: 090-9616-3121 (山口)</p>
<p><b>展示 &amp; ステージ</b> 3/5 (水) -9 (日) 10:00-18:00</p>	<p><b>遊牧民ひろば~観て、聴いて、遊牧民文化を体験する~</b> 遊牧民文化が大集合! 写真の展示、遊牧民雑貨の販売、馬頭琴 &amp; ドンブラ体験コーナーのほか、内容盛りだくさんのステージもあります! 詳細は、QR コードからチェック!</p> 	<p>参加費: 無料 (チップ大歓迎!) 場 所: 市民ギャラリー「チカノバ」 主 催: 北方アジア文化交流センターしゃが</p>

めろん編集部 【ボランティア】井嶋眞佐子、荻野克彦、黒田アリサ、崔聖子、山下三千世、鷺尾則昭  
【事務局】宇治野清隆、岩城あすか、河合大輔、坂口ピーター、小野田亜紀



スクール coupe de MINAMI 南プロカッティング研究所

### 町屋で楽しく洋服をつくってみませんか?

ボディに布を直接のせて服をつくってみましょう!  
(立体的裁断)

南正枝 プロフィール (略歴)  
昭和42~45年 フランス・パリの洋裁学校にて立体的裁断、デザイン等を修得  
昭和45~47年 カネボウ Christian Dior アトリエでデザイナー  
昭和47年以降 大学および専門学校での講師経験多数

◆リフォームや服のお仕立てもいたします! ◆パターンや立体的裁断も教えます。◆詳細はホームページあるいは下記まで直接お電話ください!

●問合せ: 〒562-0012 箕面市白鳥2-2-30 電話 / FAX 072 (721) 4151  
E-mail info@coupe-de-minami.com URL http://www.coupe-de-minami.com

こちらは、多文化交流センター(小野原)コムカフェのメニューです

# 2月 February comm cafe ランチカレンダー

コム カフェ

《簡易版》

**水～土曜** 9:30 - 11:30 朝カフェ  
 11:30 - 14:00 日替わりランチタイム (¥990)  
 14:00 - 17:00 午後カフェ

**日・祝日** 9:30 - 10:00 カフェタイム  
 10:00 - 13:00 世界の朝ごはん (ドリンク付¥770)  
 13:00 - 17:00 カフェタイム



AirPAYを導入しました!  
 各種電子決済、QRコード決済  
 がご利用いただけます。

comm cafe 直通 TEL:072-734-6255 (予約もこちらから!)

月	火	水	木	金	土	日
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 店内メニューもお持ち帰り可能です。</li> <li>● メニューやシェフは変わることあります。</li> <li>● ベジタリアン、ハラール、アレルギー対応については、お気軽におたずねください。</li> </ul>					1 ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	2 貸切のため、 14:00～ オープンします
3 休館日	4 店休日	5 ヤスミンさん 《バングラデシュ》	6 ノックさん 《タイ》	7 ルーパさん 《インド》 VEG ラクトベジタリアン	8 ティさん 《ベトナム》	9 MAFGA スナック
10 休館日	11 MAFGA スナック	12 山口さん 《中国》	13 へバさん 《シリア》 HALAL	14 ノックさん 《タイ》	15 ホーさん 《香港》	16 MAFGA スナック
17 休館日	18 店休日	19 ファルザナさん 《バングラデシュ》 HALAL	20 へバさん 《シリア》 HALAL	21 MAFGA スナック	22 店休日 ボランティア説明会 13:30-15:00 (P.3 参照)	23 MAFGA スナック
24 MAFGA スナック	25 店休日	26 MAFGA スナック	27 コブさん 《タイ》	28 洪さん 《コリア》	イ … カフェで開催するイベント ス … スナックの日 (スナックメニューは HP・FB でご確認ください)	

箕面市国際交流協会の  
**多言語による生活相談窓口**

電話 072-727-6912  
 (日本語・英語)  
 メール soudan@mafga.or.jp

子育てや教育、仕事、医療、福祉、在留資格  
 など、生活での悩みや困りごとに対応します。  
 秘密厳守。相談は無料です。

日時：火曜日から日曜日 9:00~17:00  
 受付方法：来館、メール、電話  
 対応言語：日本語、韓国・朝鮮語、  
 中国語、英語、ポルトガル語  
 場所：箕面市立多文化交流センター

※ギャラリー・カフェともに月・火曜定休

**チカノバ** ギャラリー：10:00～21:00  
 カフェ：11:00～20:30 (日曜は～18:00)  
 水・木・金の14:00～16:00はカフェをクローズします

協定管理者：(公財)箕面市国際交流協会

「フード」×「アート」×「ハート」をテーマに、箕面船場阪大前駅改札すぐにオープン!

新船場北橋 新船場駅 箕面船場阪大前駅 B3F 千原中央↓

大阪大学 箕面キャンパス 箕面市立船場広場 箕面市立文化芸術劇場

ホームページ Facebook Instagram

北大阪急行線・箕面船場阪大前駅 改札階(地下3階)  
 (〒562-0035 大阪府箕面市船場東 3-7-35 箕面市立市民ギャラリー)  
 TEL:072-734-8711 (ギャラリー) / 072-734-8722 (カフェ)  
 FAX:072-734-8732 Email:chikanova@mafga.or.jp